

令和4年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	信濃川・魚野川総合水防演習	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	災害に対する安全・安心推進事業	分類名 (中項目)	防災意識醸成活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

信濃川・魚野川流域を洪水による水害から守るため、水防技術の習得・錬磨、関係機関の連携を強化し、さらに住民、事業者等地域の力を結集して実践的な訓練による地域防災力の向上を目指すことにより、水防体制の一層の強化を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

主催: 燕市、新潟県、国土交通省北陸地方整備局、信濃川・魚野川水防連絡会
 協賛: 全国水防管理団体連合会、(公社)日本河川協会、(公財)新潟県消防協会、
 (一財)河川情報センター、(一財)日本建設情報総合センター、
 (一社)北陸地域づくり協会
 後援: 全国・地方・業界紙、地元テレビ・ラジオ局 計20社
 協力: 燕市教育委員会、燕市立分水小学校、新潟県警察音楽隊

3. 事業実施概要

大河津分水通水100周年の節目にあたり、分水路河川敷を会場に次の100年へ向け地域の力を結集すべくテーマを設定。

テーマ: 未来へつなげ 地域のチカラ

日時: 令和4年6月5日(日) 8:30~11:50

場所: 新潟県燕市五千石地先(信濃川大河津分水路右岸 大河津可動堰上流)

主な演習内容:

- ・信濃川・魚野川流域の特性にあった水防工法の実施(木流し工、シート張り工、月の輪工、積み土のう工等)
- ・大規模な水災害を想定したタイムラインに基づく実践的訓練
- ・地域防災力向上のための沿川地域住民・企業等の参加
- ・情報提供が避難行動に結びつく防災教育

参加者: 約2,000人

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

毎年、出水期を前に消防団はじめ水防関係機関や地域住民が参加のもと、北陸管内の直轄河川を持ち回りで開催している総合的な水防演習。平成27年12月に策定された「水防災意識社会再構築ビジョン」を踏まえた各種訓練の実施を通じ、地域社会における水防の重要性への認識を高める絶好の機会となった。関係8市町の消防団が参加し、水防工法の訓練を通じて水防技術の向上・伝承・普及に成果が挙げるとともに、水防関連機関各々の技術力の向上や相互の連携強化を図ることができた。また、地域住民にとっても事前撮影での参加を通じ、水防活動の意義及び重要性について理解が深まり、総じて地域防災力の向上につながる事が期待できる。



開会式



- 水防工法(上から)
- ・木流し工
 - ・シート張り工
 - ・積み土のう工
 - ・月の輪工



自衛水防活動



救援物資輸送

